



国府小学校だより

令和5年7月4日発行
第4号
徳島市国府小学校

いよいよ本格的な夏の訪れとなりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

暑さもこれからが本番になります。お子様だけでなく、保護者の皆様も体調管理に気をつけてこの暑さを乗り切っていただけたらと思います。

子供たちは、いろいろな体験活動を通して、自ら考え行動できる力を身につけています。

毎日の生活そのものが体験活動であり、①体験のめあてをしっかりとつ。②体の全感覚を使って「なぜだろう。どうしてだろう。」と考える。③体験の中で人とのかわりを大切にする。協力する大切さを味わう。そのようにして、子供たちは、人間として必要なことを学んで成長していきます。

学校では、日常の生活以外にも、ゲスト・ティーチャーに教えていただき体験活動をしています。少しですが、ご紹介します。

3年生 校区探検

3年生は、神社やお寺、スーパーなどの校区探検を実施しています。その中で、お店の方や、神主さん、ボランティアの方から、たくさんのことを教えてもらっています。

実際に見て、聞いて、疑問に思ったことは、質問をしたり、調べたりしています。教えていただいた方には、学校に帰ってきてから、感謝の気持ちをこめてお手紙を書いています。

地域の中のことを知り、地域を大切にしてきた方の話を聞き、自分たちも、もっともっと地域を好きになっていってほしいと思います。



4年生 田んぼの学校（以西用水の観察）

4年生が、総合的な学習の時間に以西用水について学んでいます。6月27日には、国府ロマン保全隊のみなさんと、農産漁村振興課の方々から、田んぼの働きについて学習しました。そして、6月30日には、徳島大学の河口先生にもお越しいただき、以西用水の貯水池の水質検査をしたり、実際に以西用水に入り、住んでいる生物を探したりしました。水はとてもきれいで、いろいろな生物を探しては、歓声を上げていました。帰校後、見つけた生き物の話を沢山してくれました。この、自然豊かな以西用水を守りたいと子供たちは思ったようでした。



青少年赤十字登録式

6月16日（金）に、青少年赤十字登録式を行いました。青少年赤十字では、児童が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、命と健康を大切に、地域社会のために奉仕し、みんなが仲良くなることを目的としています。その目的を達成するために、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標があります。



そこで、本校では、1年生から6年生がそれぞれ、実践目標から、発達段階にあわせて学年のめあてを考え、発表をしました。

1年生 きまりを守ってみんなで仲良く過ごします。

2年生 ごみが落ちていたら拾ったり、困っている人がいたら、助けたりします。

3年生 相手のことを考えて行動します

4年生 低学年でも高学年でも、困っている人がいたら、優しい気持ちをもって助けます。

5年生 学校の決まりを守ります。だれにでも優しくします。自分でよく考えて、みんなのために行動します。

6年生 国府小学校の全学年の見本になるように相手の目を見て、自分から挨拶をします。そして、困っている人に、まず気づき、その人のためになることをして、行動します。

1年生は、JRC委員会から、赤十字のバッジをいただきました。JRC委員会のみなさんは、今後、地域に貢献できることを考えて行動してくれるようです。よろしくお願いいたします。

はじめは簡単なことから、自分にできる身の回りにある問題に「気づき」、どうしたらいいのか「考え」、それを「実行する」ことが大切です。たとえば、挨拶をする、ごみを拾う、困っている子へ声をかける等。国府小学校の子供たちが、そういう活動を積み重ねると、めざす学校像「楽しい学校・温かい学校・美しい学校」になっていきます。

JRCの精神を忘れずに、学校でも、家庭でも、地域でも、「気づき・考え・実行」して世の中のために役立つ行動をしてくれることを期待しています。

6年生のみなさん ありがとう

6月9日（金）に、6年生がプール清掃をしてくださいました。苔等がついていたプールの底・側面を、丁寧にこすってくださいました。高学年として、みんなが使う物を綺麗に。全校児童が使いやすいように。自分にできることを、精一杯頑張る。そうやって、自分たちの心を磨きながら成長しているのだと思います。その姿を低学年が見て、あのようなお兄ちゃん・お姉ちゃんになりたい。みんなのためにしてくれて、ありがとう。という感謝の気持ちをもつ。など、みんなが、みんなのことを思いやる優しさが育つのだと思いました。

